

きずな



2017年 6月15日

NO 1121

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

6月12日、井原市議会6月定例会が開会しました。会期は6月26日までの15日間です。12日の開会日、瀧本豊文市長が議案の提案説明を行いました。その中で、市政の状況等について報告されました。つぎにその部分を掲載します。

市政の状況等について

国の地方創生加速化交付金を活用し、「デニムの聖地 いばら」の情報発信拠点として、井原駅構内にリニューアルオープンした「井原デニムストア」について。

3月20日の開店以降、情報誌・テレビなど多くのメディアに取り上げられ、市内外からのご来店をいただいているところであり、とりわけ、ゴールデンウィーク期間中は、ふるさと井原へ帰省された方々にもお越しいただき、本市の誇るべき井原デニムを、全国に向け効果的にPRできていると感じているところであります。

ちなみに、売上金額ベースで昨年同時期と比較いたしますと、約10倍近くの大幅な伸びとなっております。

今後も産業界と協働して、高品質な井原デニムを活かした新商品の開発、新たな販路の開拓など、「世界が認める井原デニム」を力強く支援してまいりたいと考えております。

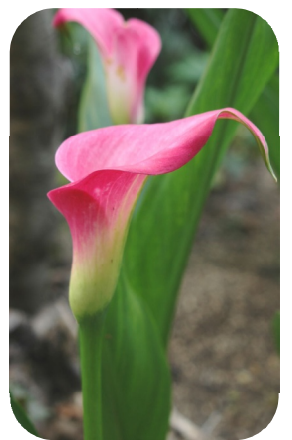
こうした中、いよいよ来月6日から9日までの4日間、フランス・パリで開催される日本文化発信イベント「第18回ジャパンエキスポ」に、私と「いばら営業部長でんちゅうくん」が参加をしております。

この度の出展をまたとないチャンスと捉え、現地では、でんちゅうくんのルーツである歌舞伎をはじめ、備中神楽などの日本文化の発信はもとより、「井原デニム」や日本三選にも選ばれた「美星の美しい星空」など、本市の魅力余すことなく世界に向けて発信し、産業や観光の振興、インバウンドに繋がるよう、積極的なトップセールスを行ってまいりたいと考えております。

美星スペースガードセンターで発見された小惑星が、4月13日に「でんちゅうくん」と命名されました。

小惑星「でんちゅうくん」は、直径2キロメートルから5キロメートルと推定され、現在、地球から約2億9千万キロメートルの距離にあり、肉眼では見ることはできませんが、今の時期は夜10時ごろ南の空にありますので、あらためて本市の美しい星空に親しみをもちいただければと考えております。

また、従来からの魅力発信の取り組みについても継続してまいります。首都圏に向けては、7月と11月の2回、三菱自動車本社ショールームや東京・新橋の県アンテナショップを会場に、本市の特産品の販売や観光、移住・定住のPRを行うこととしております。



移住・定住対策について。

都市部の人材を、地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の充実・強化を図る取り組みである「地域おこし協力隊」については、今月1日から、新たに5人を受け入れ、合計14人の隊員が、イベント支援や農業支援などの地域おこし活動に従事しております。

定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献いただいているところであり、これらの魅力発信、移住・定住対策に必要な経費について、この度の補正予算に計上させていただいております。

先般、平成28年度の県内市町村別移住者数が、報道されておりました。本市への移住者数は217人で、県内27市町村中、岡山市、倉敷市に次ぎ、県内3番目となっており、これまで取り組んできた移住・定住対策の成果が表われているものと実感しているところであります。

本市のまちづくりの指針である「井原市第7次総合計画」について。

現在、市民等50人の委員による「くらしづくり」、「まちづくり」、「ひとづくり」の3つの部会において、ご協議を重ねていただいているところでございます。

2面へつづく

1面からつづく

今後、委員の皆様から賜ったご意見等も踏まえながら、実効性のある計画となるよう作業を進め、本年9月議会におきましては、基本構想の素案と前期基本計画の骨子を、さらに12月議会におきましては、第7次総合計画の素案について、議員の皆様にお示しさせていただく予定としております。

井原市パートナーシップ・プロジェクト事業について。

協働のまちづくりでは、各地区まちづくり協議会において、本年度5年目を迎えます「がんばる地域応援補助金」制度を活用し、各地区の特色を生かした取り組みの実施をいただいているところであります。

現在、11地区の「まちづくり協議会」から申請のありました40事業を採択しており、2回目の募集では、2地区から5事業の申請をいただいたところであります。

引き続き、地域の活性化や地域課題の解決に向けた取り組み、協働によるまちづくりを積極的に支援してまいります。

臨時福祉給付金について。

平成26年4月から消費税率が引き上げられたことに伴い、市民税が非課税の方々への負担を緩和するため、要件を満たす方に臨時福祉給付金が支給されます。

本市で対象者と思われる方、約8千800人には、すでに4月下旬に、ご案内をお送りし、5月末現在で7千300人余り、約84%の方から申請をいただいております。

申請の受付は、7月26日までとなっておりますので、申請がお済みでない方は、お忘れのないよう申請をしていただきますようお願いいたします。

井原中学校建設工事について。

2月定例会で契約の議決をいただきました井原中学校建設工事に着手いたしました。現在、技術室や家庭科室がありました南校舎解体を進めているところであります。

南校舎の解体が終わりましたら、跡地に新特別教室棟を建設し、来年2学期からの供用開始を目指します。

以後、新しく建設の終わった施設から、順次、活用する計画で事業を進めてまいります。なお、全ての事業完了は平成33年1月末の予定です。

井原中学校近隣にお住まいの地域の皆様、工事中、井原中学校に在籍される生徒・教職員並びに関係各位には、大変、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

**田中美術館の春季特別展について。**

4月28日から開催しております田中美術館の春季特別展「竹工芸の人間国宝 勝城蒼鳳展」につきましては、現在、好評開催中でございます。

会期は、今月18日までとなっておりますので、ぜひ、ご覧いただきたいと存じます。今年度は、秋にも第28回平櫛田中賞受賞記念「安藤榮作展 SOUL・LIFE・SPIRIT」を予定しており、今後も質の高い美術作品を展示し、地域文化の振興に尽くしてまいりたいと存じます。

市民病院の充実について。

4月1日に、新たに常勤の救急専門医が着任し、救急科を標榜し、常勤内科医師も着任いたしました。さらに、5月1日付で常勤の循環器内科医師が着任し、常勤医師については昨年度10人から今年度、3人増の13人となり、さらに、今議会に上程しお願いしております「ドック・健診部」の新設など、医療提供体制の充実・強化に努めているところであります。

次に、本市の平成28年度の会計状況についてであります。一般会計を初め、特別、企業のそれぞれの会計が、おおむね順調に進展し、健全な財政収支で所期の成果が得られたものと考えております。

以上、最近の諸情勢及び市政の状況等について申し述べました。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見るすることができます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,497円日曜版823円)